

グローバル・ロボティクス株式ファンド (年2回決算型)

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第22期(決算日2026年7月21日)

作成対象期間(2026年1月21日～2026年7月21日)

第22期末(2026年7月21日)	
基準価額	11,799円
純資産総額	720,039百万円
第22期	
騰落率	13.1%
分配金(税込み)合計	1,500円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要な事項にかかる情報を記載したものです。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)」は、2026年7月21日に第22期の決算を行いました。

当ファンドは、主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されているロボティクス関連企業の株式に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっておりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<642878>

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.amova-am.com

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号: 0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2026年1月21日～2026年7月21日）



期 首：11,755円

期 末：11,799円（既払分配金（税込み）：1,500円）

騰落率： 13.1%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）分配金再投資基準価額およびROBO Global Robotics and Automation UCITS指数（税引後配当込み、円ヘッジなし、円ベース）は、期首（2026年1月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- （注）ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数（税引後配当込み、円ヘッジなし、円ベース）は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されているロボティクス関連企業の株式に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・ AI（人工知能）活用の進展、特にAIエージェント（ユーザーが設定した目標に対し自律的に計画を立て、実行するAIシステム）やフィジカルAI（現実世界での行動を知覚・理解・実行するロボットなど）の社会実装による生産性向上に市場の注目が集まるなか、半導体や半導体製造装置をはじめ、情報技術セクターが選好されたこと。
- ・ 米国とイラン間の和平交渉合意に向けた努力が継続したことで、中東情勢に対する投資家心理が改善したこと。

<値下がり要因>

- ・地政学リスクの高まりから、2026年3月に入り株式市場が全体的に下落したこと。
- ・AIの社会実装が進むなか、米国を中心にソフトウェア産業におけるAI代替への懸念が徐々に強まり、ソフトウェア関連企業のバリュエーション（価値評価）調整が起きたこと。

1万口当たりの費用明細

(2026年1月21日～2026年7月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	122	0.965	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(59)	(0.466)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(59)	(0.466)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(4)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.008	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(1)	(0.008)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.004	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(0)	(0.004)	
(d) そ の 他 費 用	1	0.009	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 等 ）	(0)	(0.001)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用、運用において利用する指数の標章使用料など
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	124	0.986	
期中の平均基準価額は、12,587円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

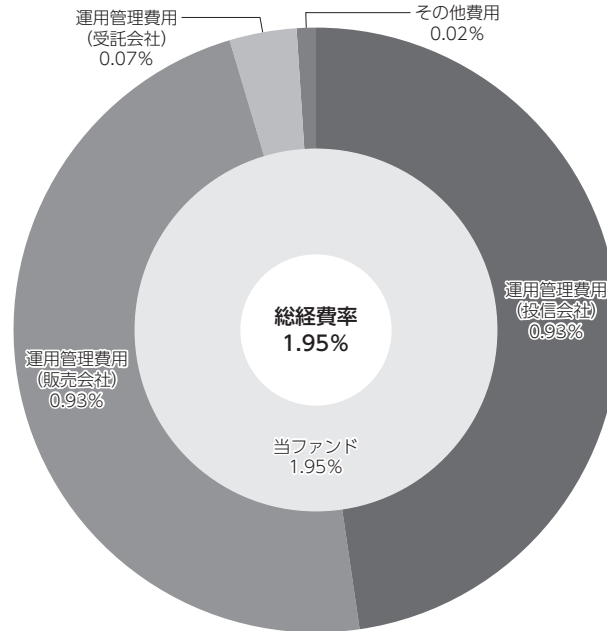
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.95%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認ください。期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

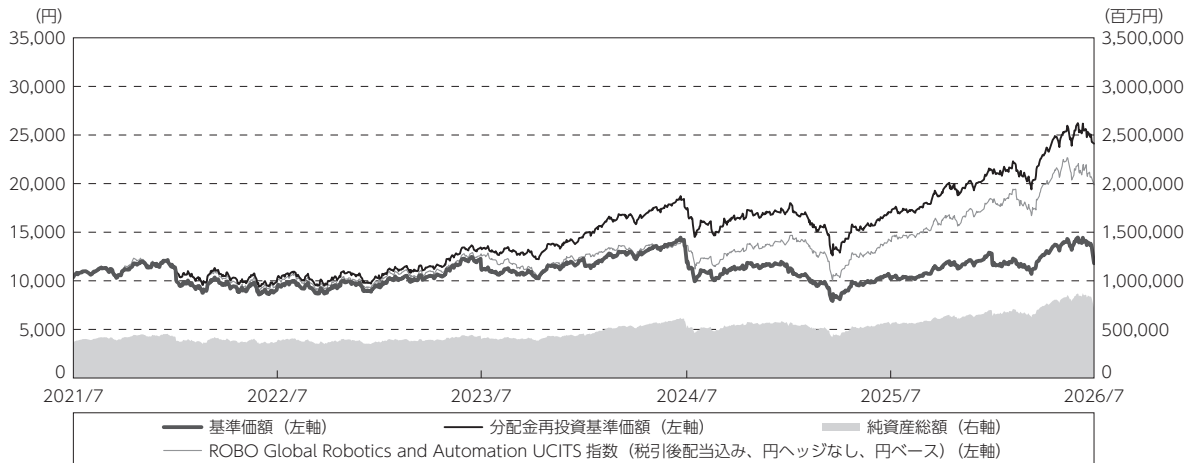
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2021年7月20日～2026年7月21日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかにについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびROBO Global Robotics and Automation UCITS指数（税引後配当込み、円ヘッジなし、円ベース）は、2021年7月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2021年7月20日 決算日	2022年7月20日 決算日	2023年7月20日 決算日	2024年7月22日 決算日	2025年7月22日 決算日	2026年7月21日 決算日
基準価額 (円)	10,367	9,374	11,225	11,875	10,187	11,799
期間分配金合計(税込み) (円)	—	950	1,000	2,500	1,500	2,500
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 1.0	30.4	29.5	△ 1.8	41.7
ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数 (税引後配当込み、円ヘッジなし、円ベース)騰落率 (%)	—	△ 5.1	29.9	6.6	3.6	40.9
純資産総額 (百万円)	355,012	385,025	398,586	512,405	549,290	720,039

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数（税引後配当込み、円ヘッジなし、円ベース）は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。

投資環境

(2026年1月21日～2026年7月21日)

(株式市況)

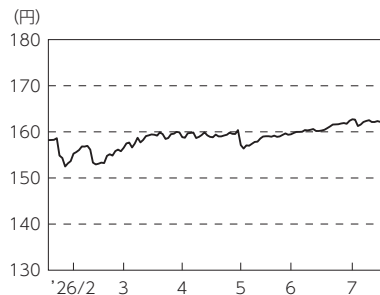
当期間は、AI関連分野における巨額設備投資に対する市場の懸念は引き続き残ったものの、AI関連半導体の需給逼迫を背景とした半導体産業の先行きに対する期待から、ロボティクス関連銘柄は概ね堅調に推移しました。

米国とイスラエルが2026年2月末にイランを攻撃したことで地政学リスクが急速に高まり、3月にかけて株式市場は全体的に大きく下落しました。しかし、その後はAIエージェントおよびフィジカルAIに対する強い期待感を背景に、半導体、半導体製造装置、データセンター関連設備などを手掛ける企業の株価は堅調に推移しました。一方、ソフトウェア業界では、AIによる業務自動化の進展を受けて既存の収益モデルへの懸念が高まり、株価調整を余儀なくされる銘柄も見られました。その後、米国で6月に発表された雇用統計が市場予想を上回ったことを受け、金融引き締め の長期化懸念が高まりました。期間末にかけては、中東情勢の緊迫化も重なり、ハイテク関連銘柄を中心にボラティリティ（変動性）の高い相場展開となりました。

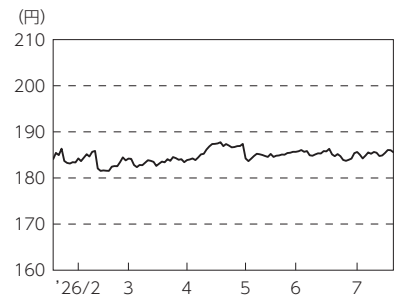
(為替市況)

期間中における主要通貨(対円)は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



円／ユーロの推移



当ファンドのポートフォリオ

（2026年1月21日～2026年7月21日）

（当ファンド）

当ファンドは、「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

（グローバル・ロボティクス株式マザーファンド）

ボトムアップアプローチを重視し、大きな変革期にあるロボティクス市場において高い成長が期待される企業に着目した運用を行ないました。

マクロ環境や地政学情勢の動向を注視しつつ、AIエージェントやフィジカルAIの進展に注目しました。特に、AIの社会実装が進展するなか、それを支える半導体やデータセンター関連の設備投資計画は上方修正されており、引き続き有望との見方を維持しました。

地政学リスクの高まりなど不透明な市場環境が続くなか、バリュエーションと企業の財務健全性を重視した投資判断を継続し、セクター別では、引き続き情報技術、資本財・サービスセクターの組入比率を高水準で維持しました。

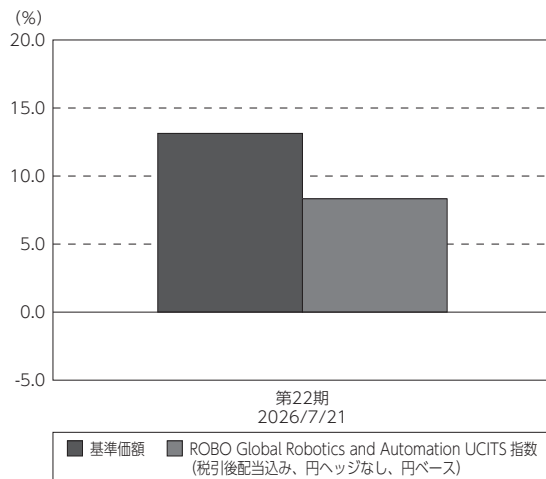
当ファンドのベンチマークとの差異

（2026年1月21日～2026年7月21日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

（注）ROBO Global Robotics and Automation UCITS 指数（税引後配当込み、円ヘッジなし、円ベース）は当ファンドの参考指数です。

分配金

（2026年1月21日～2026年7月21日）

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりいたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第22期
	2026年1月21日～ 2026年7月21日
当期分配金	1,500
（対基準価額比率）	11.279%
当期の収益	1,434
当期の収益以外	65
翌期繰越分配対象額	1,798

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

（グローバル・ロボティクス株式マザーファンド）

短期的には地政学情勢が市場変動要因になるとみられるものの、AIエージェントやフィジカルAIの社会実装の進展によってもたらされる中長期的な社会構造の変化の方が、より重要と考えています。AI活用による生産性向上は、オフィスや研究所にとどまらず、工場や倉庫などの社会インフラ領域にも広がっていくとみています。今後、AI活用に必要な計算能力は年初時点の想定を大幅に上回ることが予想されており、データセンターやAI半導体関連設備への巨額投資計画はさらに上方修正される可能性があります。また、フィジカルAIの社会実装においては、ハードウェアの生産能力がボトルネックとなる可能性にも注目しています。当戦略では、こうしたAIバリューチェーン（製品やサービスが顧客に提供される過程で付加価値が生み出される流れ）全体における企業価値の拡大に着目しています。

今後、一層のデータ活用、関税によるサプライチェーン（供給網）の見直し、賃金インフレなどは自動化・自律化の追い風となると考えます。加えて、製造業の国内回帰を掲げるトランプ政権の政策も、自動化投資を後押しする材料になると期待しています。こうした環境を踏まえると、ロボティクス関連銘柄の中長期的な投資魅力は引き続き高いとみています。引き続き、足元の株価変動は投資機会と捉え、バリュエーションを重視した運用を継続する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

2026年1月21日から2026年7月21日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

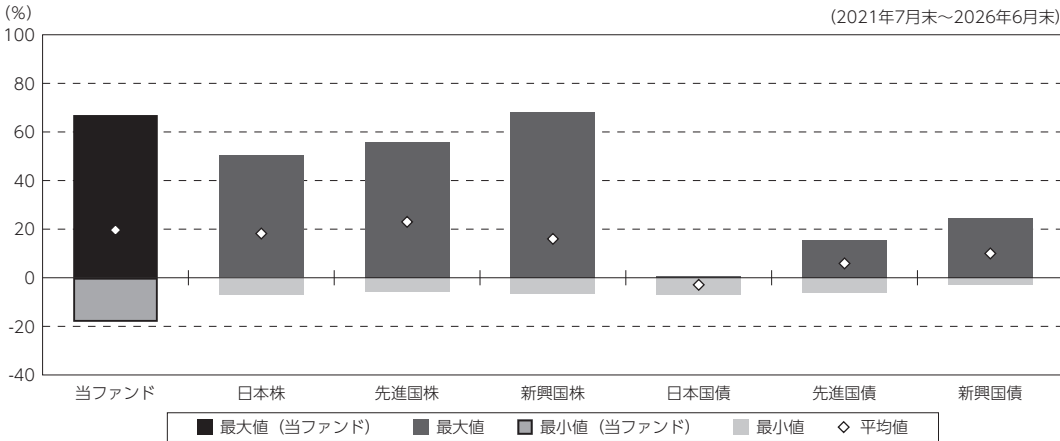
当ファンドについて、「一般社団法人投資信託協会」の合併に伴ない、その記載を「一般社団法人資産運用業協会」に変更すべく、2026年4月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（付表、第8条、第29条）

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式	
信 託 期 間	2015年8月31日から原則無期限です。	
運 用 方 針	主として、「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
運 用 方 法	主として、「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。産業用やサービス用などのロボットを製作する企業のみならず、ロボット関連技術であるAI（人工知能）やセンサーなどの開発に携わる企業も投資対象とします。外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。	
分 配 方 針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。基準価額水準が1万円（1万口当たり）を超えている場合には、分配対象額の範囲内で積極的に分配を行ないます。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	67.0	50.5	55.7	68.1	0.6	15.4	24.5
最小値	△ 18.1	△ 7.1	△ 5.7	△ 6.5	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値	19.6	18.2	23.0	16.0	△ 2.9	5.9	10.0

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2021年7月から2026年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX（東証株価指数）配当込み

先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本、配当込み、円ベース）

新興国株：Morningstar 新興国株式指数（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースィファイド（円ヘッジなし、円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドの参考指数について

●ROBO Global Robotics and Automation UCITS 指数（税引後配当込み、円ヘッジなし、円ベース）

ROBO Global Robotics and Automation UCITS 指数（税引後配当込み、円ヘッジなし、円ベース）は、世界のロボティクス関連等の株式を対象にした指数です。アモーヴァ・アセットマネジメントが円換算しています。同指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は VettaFi に帰属します。

指数について

●TOPIX（東証株価指数）配当込み

日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。TOPIXに係る知的財産は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社（J P X）に帰属します。なお、本商品は、J P X により提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対しても J P X は責任を負いません。

●Morningstar 先進国株式指数（除く日本、配当込み、円ベース）

●Morningstar 新興国株式指数（配当込み、円ベース）

先進国株式指数は日本を除く世界の先進国の株式、新興国株式指数は世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。Morningstar 指数は Morningstar により独占的に所有されています。Morningstar, Inc. (以下「Morningstar」)、その関連会社または子会社、直接的または間接的な情報提供者、または Morningstar 指数に関連があり、指数の構成、配信、算出、または設定に関わった第三者（総称して「Morningstar グループ」) は、Morningstar 指数又はそれに含まれるデータの正確性、完全性及び／又は適時性を保証せず、またその誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstar グループは、Morningstar 指数またはそこに含まれるいかなるデータの使用によって得られる結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる表明・保証も致しません。

●NOMURA-BPI 国債

野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社（以下「NFRC」) が公表している指数で、その知的財産権は NFRC に帰属します。なお、NFRC は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行なわれるアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

●FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

●JP モルガン GBI EM グローバル・ディバースファイド（円ヘッジなし、円ベース）

J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

（2026年7月21日現在）

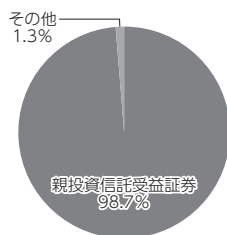
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第22期末
グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	%
組入銘柄数	98.7
	1銘柄

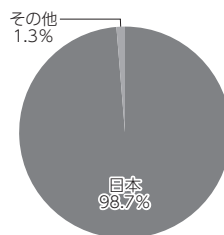
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

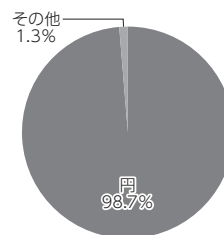
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

（注）その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項 目	第22期末
	2026年7月21日
純 資 産 総 額	720,039,557,212円
受 益 権 総 口 数	610,274,987,916口
1万口当たり基準価額	11,799円

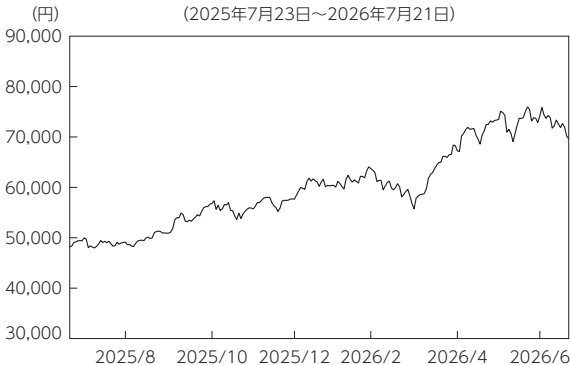
（注）期中における追加設定元本額は89,485,968,444円、同解約元本額は24,120,667,462円です。

組入上位ファンドの概要

グローバル・ロボティクス株式マザーファンド

【基準価額の推移】

(2025年7月23日～2026年7月21日)



【1万口当たりの費用明細】

(2025年7月23日～2026年7月21日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	7 (7)	0.012 (0.012)
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	4 (4)	0.007 (0.007)
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	7 (7) (0)	0.011 (0.011) (0.000)
合 計	18	0.030

期中の平均基準価額は、59,590円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

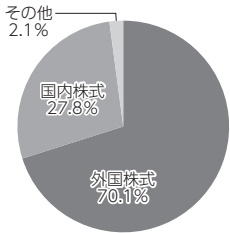
【組入上位 10 銘柄】

(2026年7月21日現在)

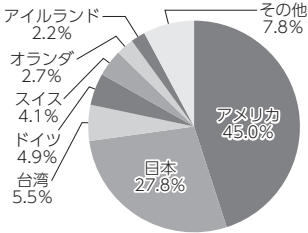
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比率
					%
1	NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	アメリカドル	アメリカ	4.9
2	ABB LTD-REG	資本財	スイスフラン	スイス	4.1
3	ROCKWELL AUTOMATION INC	資本財	アメリカドル	アメリカ	3.8
4	SIEMENS AG-REG	資本財	ユーロ	ドイツ	3.7
5	INTUITIVE SURGICAL INC	ヘルスケア機器・サービス	アメリカドル	アメリカ	3.3
6	キーエンス	電気機器	円	日本	3.3
7	三菱電機	電気機器	円	日本	3.0
8	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	半導体・半導体製造装置	新台幣ドル	台湾	2.8
9	ダイフク	機械	円	日本	2.6
10	ALPHABET INC-CL C	メディア・娯楽	アメリカドル	アメリカ	2.4
組入銘柄数		53銘柄			

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

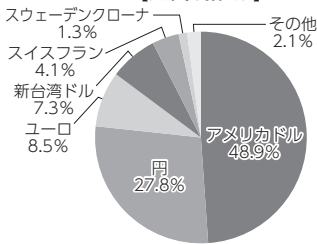
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。